

ドナーの 安全対策の徹底で要望書 厚生労働大臣、 財団理事長へ提出

全国協議会は、2月5日に「骨髄提供者(ドナー)の安全対策徹底について(要望)」を厚生労働大臣と財団理事長宛に提出しました。

これは、昨年、非血縁ドナーからの骨髄採取の際、重篤な事故が相次いで発生したことに関連するものです。

要望事項は(前文省略。1~6項は共通、7項は厚生労働大臣のみ。)次のとおりです。

要望事項

1. 骨髄採取施設(認定病院)における骨髄採取マニュアル(手順書)及び危機管理マニュアルを策定し、全ての行為において安全かつ確実な採取方法の遵守を周知徹底して下さい。
2. 過去3年間での骨髄移植、骨髄採取件数実績に依拠する従来の施設認定基準を見直し、採取医師として経験度による認定医制度の導入を検討下さい。
3. ドナーに対する術前説明に採取および麻酔担当医の氏名および経験の項目を加えて下さい。また、その説明は文書にて財団にも報告するシステムとして下さい。
4. ドナーからの骨髄採取は、必ず経験の十分ある医師あるいはその医師の指導のもとで行われるよう徹底して下さい。
5. 認定施設に対しては、一定期間毎に施設の状況のほか、スタッフ、運用体制等を含めた査察を行い、基準を満たす施設のみ認定の更新を行うよう認定制度のあり方を見直して下さい。
6. 万が一、ドナーに骨髄採取に関わる健康被害が生じた場合には、直ちに最も適切な対応策を講ずるとともに、速やかに当該事例及び対応策の公表・報告を行って下さい。
7. 骨髄採取術に関する保険点数を大幅に引き上げ、安全な採取環境を整備して下さい。

『何をどう実現するか』 第4回公開フォーラム開く

第1部
ドナー30万人を目指して
・日赤の関わり方の抜本転換を
・補助金制度の見直しを
・フィルター方式は有効
・国会でもドナー登録会を

骨髄バンクを応援する若手国会議員の会、財団として全国協議会の三者が主催する「第4回骨髄バンク公開フォーラム」が、2月11日東京西新宿の全労済東京会館で開かれました。
フォーラムは3部構成で行われました。また、パネリストにはアメリカから全米骨髄バンクのホリマン陸子理事を招くなど、多彩な顔ぶれがそろい、会場からの発言も交え、活発な議論が行われました。さらに、特別セミナーとして岡山大学の原田実根氏による「同種末梢血幹細胞移植」の講演も開かれました。

テーマごとの論議内容は次の通りです。



第2部
ドナーの安全確保と採取体制
・学会全体でガイドラインの確立を

第3部
患者救命と病院体制
・先進国中最長のコーディネーター期間
・患者の権利と擁護体制の確立
・患者負担金の軽減を
・患者コーディネーター制度の導入を

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:野村 正満
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

あなたの愛車に貼ってね!

ハローキティ車用ステッカー完成
○ステッカーのサイズ:250mm×100mm
○単価:1枚300円
(税込、送料別)
注文は、10枚単位で全国協議会事務局へ



選考委員会
委員長 笠原慶一(関東甲信越)
委員 高山茂房(北海道)
四方田淳(東北)
庭野光世(東海北陸)
三好逸二(近畿)
下村映子(中四国)
坂田浩章(九州)
荒木俊司(事務局)
村上美智子(事務局)

理事長の任命による役員選考委員会が2月12日に第1回委員会を開き、選考委員長の選出(左記)、選考細則、今後のスケジュール等を決定しました。
選考委員会は、会長・副会長・理事(東北地区)、監事の役員資格者の選任を行います。

第1回 役員選考委員会開く

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

- ドナー登録数は、依然として低迷傾向。抜本的な取組みが必要に!
①各地で「献血会場におけるドナー登録受付」が始まりました
1月は、献血会場におけるドナー登録受付が27回実施され、297人が登録されました。1月の31回のドナー登録会のうちで、回数で87%、登録者数で77%を占める実績を示しています。献血会での骨髄ドナー登録受付は、各地で開催されるドナー登録会の主流となりつつあることを示すものと理解できます。1月の都道府県別開催数は、沖縄県9回、秋田県3回、東京都3回、福岡県3回、栃木県2回、神奈川県2回、愛知県2回、北海道1回、石川県1回、広島県1回という実績でした。これは、日本赤十字社ならびに各地血液センターのご協力の賜物です。
②「都道府県庁舎、市庁舎でのドナー登録会」続々と開催
1月には31回のドナー登録会が開催され、384人の登録実績でした。1月の全ドナー登録者1184人に対する割合では32%を占めています。昨年1月は登録会5回、登録者数61人でしたので、昨年比6倍という大幅増加です。とりわけ、各都道府県・市役所での庁舎登録会は、7都県(東京都、秋田県、栃木県、茨城県、神奈川県、愛知県、福岡県)と、4市・町(福山市、沖繩市、糸満市、北谷町)で計18回(開催日数ごとに計算)開催され、合計239人が登録されました。ドナー登録者増加が低迷傾向を続けているなか、各都道府県・市担当者のご理解ご協力により、このような成果に結びついたものと厚くお礼申し上げます。
- ライオンズクラブ主催シンポジウムが横浜と山梨で開催されます
3月13日(火) 横浜市医師会館、3月14日(水) 甲府アピオにおいて、骨髄バンクシンポジウムが開催されます。主催は神奈川県と山梨県を管轄地区としているライオンズ

- スクラブ国際協会330-B地区。横浜地区、甲府地区のライオンズクラブ会員約400人の参加が予定されています。
- 厚生労働省研究班「公開シンポジウム」が開催されました
厚生科学研究ヒトゲノム・再生医療等研究事業「造血細胞の自己修復能力、再生能力を利用した治療法の開発と普及に関する研究」班と「臍帯血移植の進展状況と再生医療に関する研究」班の合同シンポジウムが、2月10日(土) 14:00~17:00、東京医科大学第一研究教育棟第二講堂で開催されました。①臍帯血移植の進展状況と移植成績、②同種末梢血幹細胞移植が、昨年4月の医療保険適用により急激に増えている状況、③HLA-DNA検査の普及について、大量検体の同時処理の自処がたつたことやフィルターでの検体検査も可能との報告、④膠原病などの自己免疫疾患への造血細胞移植の進展状況——、最新の研究成果に約150人の参加者が耳を傾けました。
- 「骨髄バンクドナー登録説明員」養成研修制度ができます
骨髄バンクドナー登録会で受付、説明、確認業務を行う説明員を育成するための制度が、4月1日より「説明員研修プログラム」として本格的に施行されます。これにより、説明員の拡充と登録会開催の一層の促進を図られることとなります。研修会では、骨髄移植と骨髄バンクの基礎知識、説明員に求められる業務内容、心得を学び、実際の登録会にて実地研修を行います。所定の研修を受け、登録会での実地研修2回以上を修了し、指定推薦人よりの推薦を受けた方には、説明員認定証を発行します。骨髄バンクのサポーターとして支援していただける方ならどなたでも参加できます。

骨髄バンクNOW

- 地区普及広報委員を公募中!ふるってのご応募をお待ちしています
前号でお知らせした地区普及広報委員募集について、その必要性を説明させていただきたく思います。
昨年6月、厚生省の通達改正により、当財団だけでなく都道府県、政令市及び特別区も集団登録会を開催できるようになりました。ところが、各地でドナー登録会を開催企画し、行政、血液センター等との折衝、当日運営を実際に行う地区普及広報委員が不足しています。現在、地区普及広報委員は33人ですが、地区普及広報委員が少ない道県もあり、ドナー登録会の開催が難しい地域も多いのが実態です。また、人口が集中している首都圏、京阪神圏、中京圏では、登録会開催要請に対応できないこともあります。人口密度、面積を考慮すると、全国で最低100人程度の地区普及広報委員が必要な状況です。ドナー登録者30万人を目指す取組みの基礎ともなる、地区普及広報委員に多くの皆様の積極的なご応募をお待ちしています。お問合せは、財団事務局まで。
- 日本骨髄バンクの現状(2001年1月末現在)

	1月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,184	134,564	160,828
患者登録者数	121	1,627	10,397
骨髄移植例数	65	-	3,148

数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

骨髄バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
0120-892-106

心からのご寄付を ありがとうございました

- 1月22日~2月14日
- 各務原クローバーライオンズクラブ 現金 500,000円
- 日本インシュレーション(株)有志 現金 1,058円
- 星野友里 現金 4,700円
- 寿ママ 現金 1,100円
- 浅井みよ子 現金 1,000円
- 切明隆 現金 20,000円
- 匿名 現金 500,000円
- 鈴木章グラフィックアート展 現金 50,000円
- 青森県社会福祉協議会 切手 2,115円
- 山村詔一郎 現金 1,583円
- 佐藤さち子患者支援基金
切明隆 現金 20,000円
(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

「白血病と言われたら」 増補改訂版を発行へ

「白血病フリーダイヤル」のご相談を基に作成した小冊子「白血病と言われたら」は大変なご好評を頂き、発行後1ヵ月で3000部が完売となり、4000部の増刷をしてわずか3ヵ月足らずで、続編の発行の企画に入るとは思ってもいませんでした。続編は初版の反省を含め、疾患・治療・薬剤編の充実を図るため、全国から推薦していただいた先生方(実に22名)にご執筆を頂きました。サポート編も新たな情報を追加・改定し、

より読みやすくするため図表化を図りました。

目次案(未定)は病気の種類と治療法:11編/骨髄移植以外の治療法:3編/病院との関わり方:5編/先輩からのアドバイス:4編/闘病に役立つ諸情報:3編/伝えたい思い:4編/参考資料:7編。増補改訂版の表紙は初版同様安藤さんにお願ひし、春に向けて暖かい色彩でお届けします。200頁(予定)・500円(送料込)でいよいよ3月末発行。



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

和歌山 那智勝浦の登録会

平成12年度第4回目のドナー登録会を、2月4日に那智勝浦町で開催しました。今回は人権フェスティバルと同時進行の形でした。主催者の那智勝浦町の協力を得てチラシを全戸へ配布し、近隣市町村役場の職員組合、郵便局の組合へも働きかけて事前予約が15名ありました。当日

病氣と闘っている患者さんが、移植によって生きるチャンスができるということに、多くの人に耳を傾けてもらい、より知ってもらう、理解を深めてもらうという機会が少ないことを痛切に感じました。しかし、和

今年で、もう雪像作りは6回目でしょうか。皆も手慣れたきようで、それぞれに独自の分担も決まり、思ったよりも早くできることとなりました。延べ人数20人、所用時間15時間といったところで完成しました。今年もNHKに取材を受けることもありました。オンエア時には残念ながら紹介されることはなく終わりはしたものの、この雄姿は結構大きくブラウン管



北海道 「雪まつり」 今年も登場 マロー博士

(ひこばえ・合下)

歌山県でも最南端の保健所管内での開催であり、過疎の進む地域であることを加味すると、10名の登録というのは成功であったのではないかと思っています。これからも、多くの方に骨髄バンクのことを知ってもらい、一人でも多くの方に登録していただけるよう、啓発していきたいと考えています。

新潟 上映会と 命のアサガオ 小袋作り

(札幌支部・三上善博)

2月4日午前9時30分から11時20分に映画「いのちのあさが」の上映会を中条町産業文化会館で行いました。第6回目となった今回は、整理券の事前配布をしなかったため、何人が集まってくるか見当がつかないのですが、106名の参加者があり嬉しい驚きでした。幅広い年代の方に見ていただくことができ、終了直後「自分の学校でも上映したい」等の反響がみられました。引き続き命のアサガオ小袋作りや種入れ作業にも約40人が参加して、1時間でも約45袋が完成しました。一人一人ができる小さな行動が結果した素晴らしい結果です。知らない人が集い、出会いと交流が生まれ、新たなエネルギーが湧き出てきます。命のアサガオは生きるエネルギーを与えてくれるアサガオです。

今年で、もう雪像作りは6回目でしょうか。皆も手慣れたきようで、それぞれに独自の分担も決まり、思ったよりも早くできることとなりました。延べ人数20人、所用時間15時間といったところで完成しました。今年もNHKに取材を受けることもありました。オンエア時には残念ながら紹介されることはなく終わりはしたものの、この雄姿は結構大きくブラウン管

茨城 よかつペツァー報告



とても良いものでした。その後、水戸黄門でおなじみの西山荘に立ち寄り、夕方5時ごろには当会事務局、山崎さん経営の「くるみ屋」さんに到着。ここで、埼玉の会の方と合流。

その後、約1時間ほど千葉の会の方を講師にむかえ、ペンシルバリアンの講習会となりました。6時すぎからはエンドレスの「朝まで……」の懇親会を行い、親睦を深めました。最後にになりましたが、このツアーに参加された方には、遠路はるばるお越し頂き、大変な難うございました。いたらない点があったとは思いますが、これを機会に第二回、第三回と続けていきたいと思っておりますので、これに懲りずに、次回以降もぜひご参加くださいますよう、お願い致します。(中津川)

私は仕事の関係上、一日目しか参加できませんでしたが、この日のみの報告となります。この日は参加された皆さんの日ごろの行いが良かったおかげで(晴れ女、晴れ男が全員そろっていただけですが)、ほとんど雲ひとつない良いお天気、絶好の日和でした。

朝の9時40分ごろ、日立市にあるJRの駅に電車で来られた千葉、東京の会の方々をお迎えし、その後、茨城の牛島会長の名車と合流し、その足で日本三大名瀑のひとつ袋田の滝へと向かいました。この時期、完全氷結も見えませんが、完全氷結ではなく半氷結の状態(写真)でしたがこれもまた趣があり、

千葉 全日空ホテルで 献血並行登録

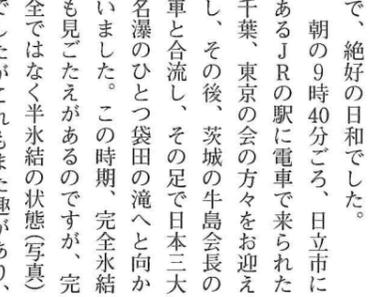
2月1日、成田全日空ホテルで献血並行ドナー登録会が、全日空エンタープライズ労働組合成田支部主催で開催されました。会場は、ホテル2階の大広間「鳳凰の間」です。シャンデリアの輝く素敵な会場で、千葉ではバンク支援関係者以外が初めて主催する記念すべきドナー登録会となりました。結果は、8人の方に登録頂いて大成功

大阪 沖繩に学ぼう

1月16日、大阪府の主催で骨髄バンクシンポジウム「骨髄バンクに登録を、沖繩の取り組み」が大阪ドーンセンターにて開催されました。当日は、パネリストとして上江州富夫(沖縄県骨髄バンクを支援する会)さんが招かれ、他に藤岡八重子



(財団普及広報委員長)さん、谷慶彦(財団近畿地区調整委員会副運営委員長)さん、正岡徹(関西骨髄バンク推進協会会長)さん、田代貴久(患者)さんなどが出席しました。骨髄バンクドナー登録を献血に合わせた受け付けて、成果を上げている沖繩県の事例を中心に、提供者拡大に向けた取り組みを話し合いました。来場者は日本赤十字社の職員やボランティアが数多く参加し、これまでのドナー登録会の反省点や、これからの登録会の方法など、熱心な意見交換が行われました。最後に、正岡会長が「関係諸団体は一致団結して協力し合い、より多くの命が救えるように、骨髄バンクを大きく育てていただきたい」と結びの言葉を述べました。



GET POWER! Regain!

三共株式会社

肉休疲労時の栄養補給、滋養強壮に 成人(15才以上)1日1回1本。

J-リゲイン 100ml・194円 / リゲインA 50ml・500円 / リゲイン 50ml・291円

価格はずべてメーカー希望小売価格(本体価格) http://www.sankyo.co.jp/healthcare/